

北部九州地域における 経塚と経筒

時は仏の教えがすたれてしまうという末法の時代、平安時代後期。度重なる戦乱や疫病の流行など時代を謳歌していた貴族層には現実の世界は正に「世も末」と映りました。弥勒仏の救済を求めて造営が盛行した「経塚」。数多く残る経塚遺宝についてご紹介します。



「銅製経筒」九州国立博物館蔵

九州国立博物館では、日本文化がアジアとどのように関わって形成されてきたのかを実感でき、アジアの文化を知ることのできる文化交流展示や特別展示を行なっておりますが、さらに展示や博物館の魅力を感じていただくため対談や講座を通したミュージアム講座を実施しています。

2007年4月からは月1回の月例講演会として、文化交流展示室の紹介を行う講座を1年間行います。10月は、文化交流展示室Ⅲテーマを紹介する内容とし、展示の楽しみ方などを紹介します。

2007年10月27日(土) 14時〜

九州国立博物館 1階ミュージアムホール
講師 森井啓次(九州国立博物館展示課研究員)
申し込み不要(定員300名、先着順)

入場無料